

あ・と・が・き

日高の軽種馬育成調教場の1日の最高利用頭数が、昨年未までの699頭(H20年4月1日)から、今年に入り記録の更新を繰り返し、4月24日には763頭を記録しました。利用頭数が増えても、利用に支障がないよう、安全で円滑な調教場運営に日々努めてまいります。

4月14日に、第27期軽種馬育成調教技術者養成研修生21名が入講しました。今期は乗馬未経験者が多いため、安全面を考慮し、騎乗レベルに合わせて例年より1グループ多い、4グループに分けて騎乗訓練を開始してから、その後の上達に合わせて班編成を組み直しました。現在では全員が同じレベルで走路における騎乗の訓練中です。上達の早さには目を見張るものがあります。また、騎乗訓練以外に課外授業等も実施しておりますので、各種情報・知識の習得のため、皆様方のご協力をお願い致します。(Y.H.)

第26期研修生17名が4月17日に修了式を迎えました。恵まれた施設を活用した1年間のBTCでの研修の成果を新しい就労先で十分に発揮されることを願っています。

近年、経済成長のめざましい中国ですが、最近の競馬に関する状況があまりよく分かりません。そこで、海外との交流を推進しております競馬国際交流協会の小池理事長に中国本土の競馬事情について巻頭言をいただきました。古い歴史のある中国の競馬ですが、ギャンブルとしての競馬は現在開催されておられません。しかし、いずれ競馬が開催されるようになれば、わが国の優れた育成・調教技術の輸出や移譲のみならず、生産馬が活躍する機会が増えることが期待されます。

今回、科学の箱馬車の欄では繁殖牝馬の栄養管理について、JRA 日高育成牧場の井上喜信氏に執筆いただきました。優秀な馬の生産には欠くことのできないことと思われ、繁殖成績の向上に役立てていただければと思います。調査・研究の欄ではBTCで取り組んでいる調査研究事業についての概要を紹介しました。日常行われている育成調教が安全であり、知識や技術の向上に役立つことに努めています。馬にみられる病気の欄では、子馬や育成馬にしばしばみられるDODについて解説いたしました。早期発見や予防に役立てていただければ幸いに思います。(T.Y.)